

森のおくりもの12月



シータテハ（タテハチョウ科）



日ごとに寒さが増しており、観察の森に本格的な冬が訪れようとしています。たくさんいた虫たちの姿も徐々に目にする機会が少なくなり、若干の寂しさを感じます。

ある暖かな日、森で一頭の色鮮やかな蝶を見つけました。陽があたっている樹木の幹にとまって日向ぼっこ。蝶の名前は「シータテハ」。成虫のまま冬を越すタテハチョウの仲間です。羽を広げた姿は橙色の美しい蝶ですが、羽を閉じると枯葉や樹皮のようで全く目立ちません。冬の間、外敵からの目を逸らし、じっと春を待つ姿には生き物たちのたくましさを感じます。

本当に大変な一年でしたが、この森の豊かさはこれまでもこれからも変わりません。きっと来年はいい年になるはずです。森ではたくさんの出会いが待っています。それでは良いお年を！

【写真・文 近藤晋也】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします。

『飛花落葉』（ひからくよう）

紅葉で華やかに色付いた森は、落葉して静寂に包まれました。“わびさび”を感じるとは、このような情景のことをいうのでしょうか。

『飛花落葉』という言葉があります。「咲いた花もやがては散り、青葉も秋には色付いて枯れ落ちることから、人生のはかなさや世の中は無常であることのため。この世は常に変化しているということ。この世の中に永遠不変のものはない。」という意味です。美しい花や紅葉もいずれは散ってしまう自然のはかなさと、人生のはかなさや繁栄していた者が没落してしまうことを重ね見たのではと実感します。

「飛花落葉」は寂しさを感じる言葉なので終わりを連想しますが、自然のしくみとしては花や葉は散ったら終わりではありません。花は種子になり、葉は次の芽を準備し、落ち葉は生きもののすみかや養分などになります。本来の意味とは違い、終わりではなく次のステップへ移行する始まりのことなのだと思います。そう考えると前向きな言葉に感じます。

今年の紅葉は残暑が長引いたせいで時期が遅れるのかと思ったら、急な冷え込みでどんどん進み、きれいな瞬間があっという間に過ぎてしまいました。自然の推移のスピードは冬で帳尻を合わせているようです。季節はまた春に向けて進んでいきます。

気がつけばいつの間にか年末です。今年はいろいろ変化があった一年で、あっという間に終わってしまった気がします。でも一年の終わりは終わりではなく次のステップへの始まりです。さて、来年はどんな年になるのでしょうか？いい年になるといいですね。

【レンジャー：新田隆一】



12月の生物ごよみ

12月初めから3月末までセンター裏庭にバードテーブルを設置します。研修室からゆくつりと観察できますので是非お越しください。

バードテーブルの様子



センター裏庭に設置したバードテーブルの様子。柱のまわりには平板に釘を複数打ち『イノシシ避け』を取り付けています。



研修室の右側の窓からも観察できるように新しくバードテーブルを設置しました。

研修室の様子



今年の森はエサ不足なのか早速ヤマガラがヒマワリの種を食べに来ました。



野鳥にストレスを与えないようにのぞき窓から見られるようにしています。右のテーブルには『野鳥クイズ』を設置。正解者には『オリジナル野鳥しおり』をプレゼント！！

バードテーブルにやってくる野鳥たち

ヤマガラ

14cm/ 留鳥



オレンジ色のお腹が特徴。ヒマワリを両足ではさみ、くちばしで割って食べる。

シジュウカラ



15cm/ 留鳥

胸の黒い筋が特徴。オスはメスより太い。ヒマワリを食べる。

ヒヨドリ

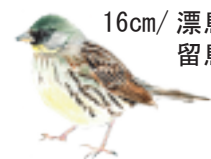
28cm/ 漂鳥
留鳥



バードテーブルを占領し、他の鳥を追い払うこともある。

アオジ

16cm/ 漂鳥
留鳥



バードテーブルにはのらわず、地面にまいたエサをついばんで食べる。数匹でやってくる。

他にもいろんな野鳥が集まってくるよ！

【レンジャー：齋 正宏】

※留鳥 年間を通して同じ場所に生息し、季節による移動をしないもの。

※漂鳥 暑さや寒さを避けるため夏は山地、冬は平地というように繁殖地と越冬地を区別して日本国内を季節移動する鳥。

森の「おとしもの」



「赤い鳥 黄色い鳥」

先月の森のおくりもので“やって来る”と予告(?)したルリビタキとベニマシコが観察できました♪

ルリビタキは蔵王など高山で子育てをし、寒くなると低地へ降りてきます。暗い林の中など好むようです。ベニマシコ(右の写真①~③)は北海道など寒い地方で子育てし、寒くなると南下して草原やヨシ原のような明るい開けた場所でよく見られます。どちらも秋にやってきて、冬を観察の森周辺で過ごす「冬鳥」ですが、毎年その姿を見ると、“ああ、また冬が来る”とめぐる季節を感じます。

右の写真①では、クズのつるがからまった茂みの中で“うたた寝”をしていたように見えました。すぐ気づいて(②)飛び去っていったけど、厳しい野生の世界では“ぼーっと生きているとすぐ捕食者に食べられてしまうのかな”なんて考えてしまいました。

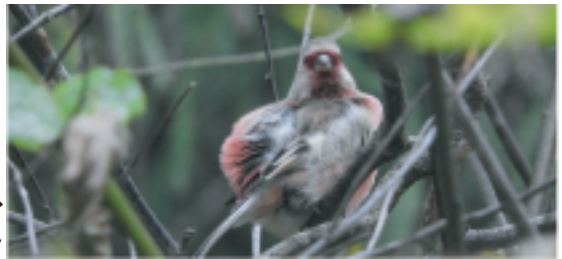
アカハラ、シロハラ、カシラダカ、アトリ…これから出会いを期待できる冬鳥はまだまだいますよ。

ミヤマホオジロという頭部が鮮やかな黄色の小鳥がいます(写真④)。2年前の冬「野鳥のレストラン」に来店してくれたけど、来年も来てくれないかな～。

【レンジャー：木田秀幸】



写真①ベニマシコ (アトリ科)



写真②



写真③ 横から見た姿



写真④ミヤマホオジロ (ホオジロ科)

森は糸



森は布

森は様々な生き物が互いにつながって
森として生きているんですね (*_*)

広葉樹の葉がすっかり落ちて、枝や樹皮が目につくようになってきました。観察の森で春一番に咲いた、マンサク、オオバクロモジ、キブシの枝をよく見ると芽鱗（葉芽や花芽を寒さから守っている）に包まれた冬芽が見られました。もう明日にでも咲きだしそうな花芽（写真①マンサク②オオバクロモジ③キブシ）も見られます。これらは何と秋ごろにはつくられていて、咲く準備は整っていたのです。いつ咲いても良さそうなのですが、ずっとこの状態のまま今に至っているのは不思議な感じがしますね。・・・ (^_^)

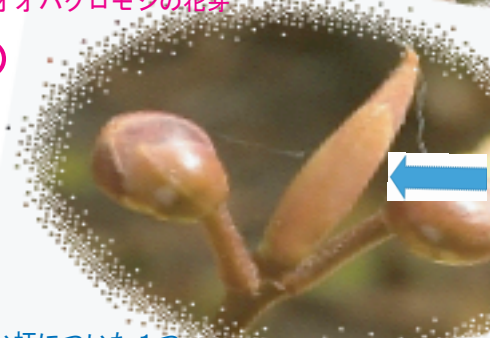
3つの丸いふくらみがマンサクの花芽

①



こぶしのような丸い部分がオオバクロモジの花芽

②



長い柄についた1つ1つがキブシの花芽

③



マンサクの花



オオバクロモジの花



キブシの花

冬の寒さを通りこせばこうなる!!
それぞれ葉から
成長抑制ホルモンが
花芽に移動する

葉が落ちる前に、葉で作られた「成長抑制ホルモン・・・花が咲かないように抑制する等の働きをもつ」の作用で、咲く環境が整うまで「休眠」するようになっていたのです。冬の寒さによってこの抑制が解かれ、春の温かさで花が咲く仕組みがあったんですね。すごい!・・・ (^_^) 【レンジャー：菅原 幸彦】

12月のイベント & お知らせ

◆12月から野鳥のレストランOPEN!

・12月1日(火)より野鳥のための餌台を設置しました。あたたかい研修室から野鳥たちの姿を間近に観察しませんか。野鳥クイズもあるよ。

◆おはよう野鳥かんさつ

・講師の案内で、冬の森の野鳥を観察します。

【日時】12月12日(土) 7:00~8:30 【定員】15名

【持ち物】手袋・帽子など暖かく歩きやすい服装と靴で、観察用具

【申込み】12月8日(火)午前9時より電話で受付[先着順]。

※双眼鏡を無料で貸し出します、免許証等本人確認できる身分証をお持ち下さい。

◆森の素材でリースづくり

・森で採集した素材でクリスマスのリースを作ります。

【日時】12月12日(土) 10:00~11:30

【定員】小学生以上15名【費用】500円

【申込み】12月6日(日)午前9時より電話で受付[先着順]



◆新型コロナウイルスの感染拡大や天候の急変等でイベント中止・短縮場合があります。

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

12月は6、13、20、27日です。

開催時間:10:00~11:30

12月~3月のガイドウォークは
午前みの開催です。

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

12月の休館日

7日(月)、14日(月)
21日(月)、28日(月)~

【年末年始】

12月28日(月)より
1月4日(月)まで
休館します。



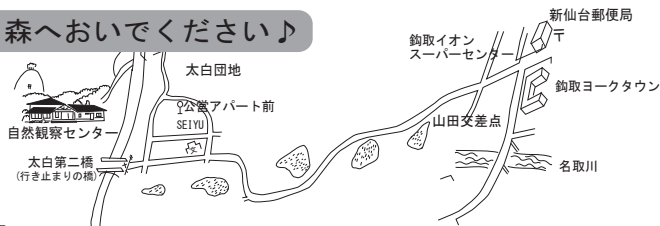
宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」)
いずれも「公営アパート前」下車→徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2020年12月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133